



小規模多機能型居宅介護事業所 ともがき

令和6年度 事業報告書

☐ 小規模多機能型居宅介護事業所

ともがき

サテライト型 和光

☐ 住宅型有料老人ホームともがき

事業目標

専門的ケアの提供

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症の類型が2類から5類に変更され、世の中の生活状況も大きく変化しました。また年明けには能登半島地震が発生したことで、今一度、地域に根差した福祉事業所としての在り方や、防災対策の見直しが必要となりました。

令和6年4月には、介護保険制度、障害者総合支援法、医療保険制度の同時改定が行われます。概要として、ターミナルケアや認知症ケアの推進、サービスの質の向上、生産性の向上、根拠ある支援（LIFE）に重点が置かれています。次回の介護保険制度改正に向け、地域に求められる事業所を目指し取り組まなければいけないことだと考えます。

これらのことを踏まえ、今年より運営推進会議で外部評価を取り入れ、地域や行政、利用者様やご家族からのご意見をいただきながら、小規模多機能型居宅介護事業所として年間計画を立てて、取り組んでいき、地域から求められる事業所運営を行っていきます。

1、専門的で質の高いサービスの提供

在宅生活最後の砦の事業所として、できるだけ長く住み慣れた地域、自宅で生活することができるよう専門性を高め、サービスの質向上に努めていきます。

具体的内容

- ・毎月1回以上、カンファレンスを実施する。
支援内容の検討、情報共有、サービスの見直し、支援内容の評価を話し合う。
軽微な変更であれば朝礼などで検討する。
- ・支援に必要な情報収集を行っていく。
利用開始時にアセスメント、フェイスシートを取っているが、情報の更新がされていない。
関わりの中、日常会話から本音や生活歴について話をしてくれることが多いので、介護職員や看護職員が利用者様との会話で得た情報や思いを記録して共有する。
- ・科学的で根拠のある支援
利用者様ごとのADL値（栄養、口腔、認知症の状況、心身の状況など）をデータ化し、根拠ある支援に結び付けていく。（科学的介護推進体制加算算定。）
第一四半期においては、毎月のカンファレンスにて情報共有を行う事ができており、利用者の軽微の変更は、朝礼や申し送りノートにて対応し統一したケアを目指しています。



総合記録シートに情報を記録し共有する事が出来ている。

また、LIFE 登録を行った為、質の高い情報の収集・分析しながら根拠あるケアを行い、今年度中に科学的介護推進体制加算の取得を目指したいと思います。

上半期においては、継続した取り組みを行い、カンファレンスにて情報共有を行っています。LIFE は、登録のみになってしまっているため、令和7年度にて進めていきたいと思っています。

2、地域に根差した事業運営

令和5年5月、新型コロナウイルスが5類になり、地域行事やイベントが行われるようになりました。今までは管理者やケアマネが中心となり、地域の行事やイベントに参加をしていましたが、その他の職員にも地域の様子や、実情を知ってもらうために地域へ出る機会を作っていきます。

第一四半期においては、地域行事の参加出来なかったですが、地域のボランティアさんに来て頂き行事として関わって頂きました。引き続き、夏祭りや避難訓練など地域との交流を行っていききたいと思います。

また、運営推進会議にて施設状況や地域の問題など意見交換の場として他職員も参加し知る機会を作っています。引き続き行っていききたいと思います。

上半期においては、運営推進会議にて情報共有を行うとともにご意見など頂き、地域の理解や事業所の活動などを知って頂いています。次回の外部評価に繋げていきたいと思っています。

令和6年度は、運営推進会議による情報共有と事業所の活動を理解して頂き、外部評価にて継続していききたいと思います。

また、毎月の行事にて利用者様に楽しんでいただける取り組みも行いました。

3、認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

高齢化率が進む中、認知症の方が増えていくと言われています。認知症になっても住み慣れた地域、自宅で生活ができるような支援が行えるよう、職員のスキルアップ、対応力の向上を目指していきます。

具体的内容

- ・認知症介護実践者研修へ2名の職員が参加。
- ・認知症介護実践リーダー研修へ1名の職員が参加。
- ・認知症サポーター養成講座を1回実施。

6月から認知症実践者研修へ1名の受講が始まりました。この研修を通し認知症の方の理解を深め、どんな時にも対応出来る様に研修をサポートすると共に職員全員で問題解決をしていきたいと思っています。

また、地域の方対象に認知症サポート養成講座を実施しました。地域の方にも理解して頂き、ご利用者様が地域で長く暮らせるように活動をしていきたいと思っています。

上半期においては、認知症実践者研修に必要な職員全員での取り組み、利用者様の様子を深掘し利用者様を理解することができ良かったと思います。今後活かしていきたいです。

来年度も職員研修を行い、専門的なケアが出来る取り組みをしていきたいと思っています。



4、BCPの策定・ともがきの設備状況の確認・更新実施

BCPを作成し、利用者様の安全の確保、また福祉避難所としての機能を果たすため、シュミレーションの実施、研修、計画の見直しや研修を行っていきます。

設置から20年以上経過しているため、空調設備やボイラーの交換が必要になっています。その他、設備等確認しながら必要な修繕を行っていく。

避難訓練の実施とBCPの見直しを行っていき、安全確保を果たせるよう訓練を行っていききたいと思います。

また、今年度空調・ボイラーの修繕を行いました。利用者様が快適に過ごせる環境を整えていきたいと思っています。